

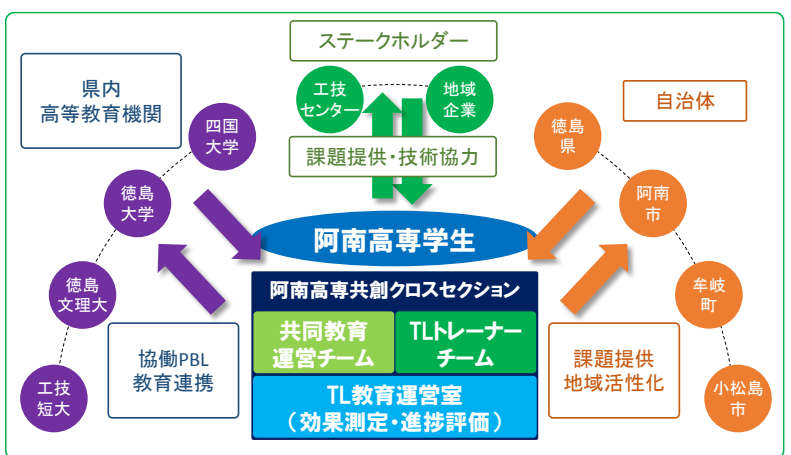
# トランスフォーマティブ・ラーニングを通じた未来創造型エンジニア育成プログラム

## －阿南高専モデル（創造×実装）のための取組－

### 取組の目的, 内容

国内各省庁ならびにOECDからの提言にあるように、現在、そして未来に生き残る高等教育機関には、これまでの専門知識の伝授を基礎として、コミュニケーションスキルや主体性などのコンピテンシーと、それに立脚したコラボレーション能力に優れた人材の育成が強く求められている。本事業では、いわゆるアクティブ・ラーニング（AL）型授業を拡張し、学生生活の様々な場面でコンピテンシーの成長を促す「トランスフォーマティブ・ラーニング（TL）」を推進する。特に本プログラムでは全国の高専に先駆けて完成する1学科体制カリキュラムのアドバンテージを最大限生かし、専門性の異なる他者との協働の中で自らの専門性を発揮し、融合させる能力を修得した「未来創造型」エンジニアを育成するために、TL特別授業としてチームビルディング→ハテナソン→アイデアソン→共同教育（ハッカソン）を、難易度を高めながら各学年で実施し、コンピテンシーの重要性に対する気づきと成長を促すTLを通じた新たな技術者教育カリキュラムを実践する。

### 実施体制



ATC (ANAN Techno Cluster)

### 工程表

実施内容	H30.7～	H30.12～	H31.1～	H31.4～
共同教育	学外連携PBL実施 中間発表会	最終発表会	アンケート分析 次年度改善案策定	学外連携拡大版 授業開始
TL科目群	後期実施計画策定	2,3年生TL科目実施 (学外講師)	アンケート分析 1,5年実施計画策定	校内TLトレーナーによる TL科目実施
教員FD	TLに関する研修会	TLトレーナー養成 研修派遣	校内TLトレーナーミー ティング	校内TLトレーナー スキルアップ研修
環境整備	新アクティブラーニング スタジオ仕様策定	新アクティブラーニング スタジオ稼働	プロトタイプングファクト リー整備	両施設本格稼働 活用イベント計画

### 成果指標

- TL授業を通して分野横断的能力の重要性を理解できた学生の割合：10%(H29実績)→40%(H30末)→60%(H31末)
- PBL科目，ステークホルダー提供課題を通じた地域連携課題取組件数：1件(H29実績)→3件(H30)→6件(H31)
- ALスタジオ稼働率（日数ベース）：90%(2室稼働H29実績)→60%(3室稼働H30後期)→80%(3室稼働H31)

### 第4期中期目標期間への展開（見込み）

- TLトレーナーを育成し，校内教員によるH31年度以降のTL特別授業の実施，カリキュラム開発
- 地域協創PBLの拡大実施，地域大学との連携強化による地域課題の解決を推進
- 阿南高専ステークホルダーが抱える困難課題に対して学生チームで挑む体制を整備

